

ESG BOOK 2021

おやまゆうえんハーヴェストウォーク



はじめに

<資料作成の目的>

近年、注目されている「ESG（SDGs）」について、商業施設「おやまゆうえんハーヴェストウォーク」での事例（工事・商品・企画等）を本資料にまとめました。

SDGs実践のアイデア集として御覧いただき、皆様の実践のヒントに繋がれば幸いです。

※ESGとは・・・『企業が長期的に成長するには、経営において「Environmental（環境）」「Social（社会）」「Governance（企業統治）」という3つの観点が必要』という考え方の事

※SDGsとは・・・「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」のこと。噛み砕いて説明すると、「世界にある課題を、世界で解決するための目標」といった意味。貧困や雇用、気候変動など、環境・社会問題を解決するため、17の目標、169のターゲットで構成されている。169のターゲットは、17の目標をより具体的に書いたもの

★つまりこの2つは、問題解決のプロセス＝ESG、ゴール＝SDGsという関係性である。『ESG』の観点で考え、行動を取っていく事の目的が『SDGs』といえます

<本資料の見方>

各案件を「環境」「社会」「実施予定」で分け、各ページには下記図のように記載をしています。

「工事」「商品」「企画」で分類し
どれに該当するか記載

実施内容を記載

The screenshot shows a project entry titled "工事 屋外広場の芝生化" (Construction: Grassification of Outdoor Plaza). The text below the title states "約1,500㎡の屋外広場を砂系舗装から芝生化し、環境改善を実施しました" (Grassified approximately 1,500㎡ of outdoor plaza from sandy pavement to grass, implementing environmental improvement). There are two photographs: "before" showing a paved plaza with a bench, and "after" showing the same area with grass, trees, and picnic tables. A box highlights the SDG icons (13, 15, and 11) in the top right corner. Below the photos, there is a list of benefits and the project cost.

before

after

芝生化のメリット
・ヒートアイランド（温暖化）の抑制の防止
・精神面へのプラス効果
・自然・環境学習の場
・地域コミュニティの形成 等

工事金額
*15,000,000円※2期に分けて実施

該当するSDGsを記載

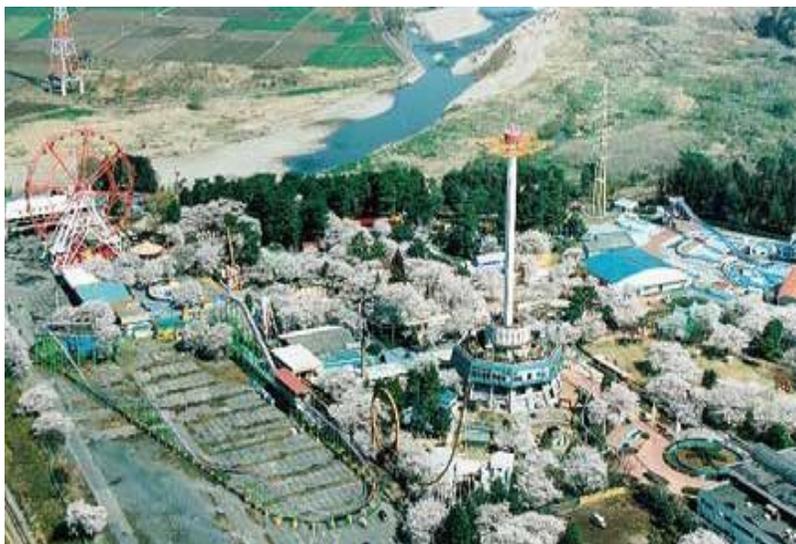
関連のある写真を掲載

メリット等を記載

おやまゆうえんハーヴェストウォークとは①

2005年に閉園した「小山ゆうえんち」跡地を開発し、2007年に開業した栃木県小山市にある商業施設（オープンモール型のショッピングセンター）です

1960年 小山ゆうえんち時代



2007年 おやまゆうえんハーヴェストウォーク開業



おやまゆうえんハーヴェストウォークとは②



施設概要

敷地面積：約130,000㎡
 建物構造：地上1階建て（一部2階建て）
 延床面積：76,000㎡
 駐車台数：約2,000台
 店舗数：約70店舗
 大型スーパー、家電量販店、映画館、アパレル、物販、サービス等のテナントが入居

年間約500万人が来客する商業施設です。
 元「ゆうえんち」にかけて「優・縁・地 ～Shopping in the park～」をコンセプトとしています。
 人に優しく、街に優しい、その優しさを中心に、人と人、人と施設、施設と地域の新たな“縁”が生まれ、その縁がその地に根ざしてゆく。そんな想いを込め、開発されました。



また閉園した遊園地の跡地を活用した開発であり、メリーゴーランドを残すなど、2007年と早い時期から、ESG（SDGs）の観点で作られた商業施設と言えます

目次

01. 環境

- ・屋外広場の芝生化 … 7 P
- ・ライトダウンキャンペーン … 8 P
- ・EV充電器の設置 … 9 P
- ・生分解性プラスチック製傘袋の使用 … 10 P
- ・外灯水銀灯のLED化 … 11 P
- ・空調レトロフィットの導入 … 12 P

02. 社会

- ・小山市と災害支援協定の締結 … 14 P
- ・シャトルバスの路線バス化① … 15 P
- ・シャトルバスの路線バス化② … 16 P
- ・支援用自販機の設置 … 17 P
- ・エコキャップ活動 … 18 P
- ・献血バスの誘致 … 19 P
- ・各イベントの実施 … 20 P
- ・防災備蓄品をフードバンクへ寄贈 … 21 P
- ・宅配便ロッカーの導入 … 22 P
- ・おもいやりスペース塗装 … 23 P

03. 実施予定

- ・ソーラーPPAサービスの導入 … 25 P
- ・バイオマスごみ袋の導入 … 26 P

01.環境

約1,500㎡の屋外広場を砂系舗装から芝生化し、環境改善を実施しました



before



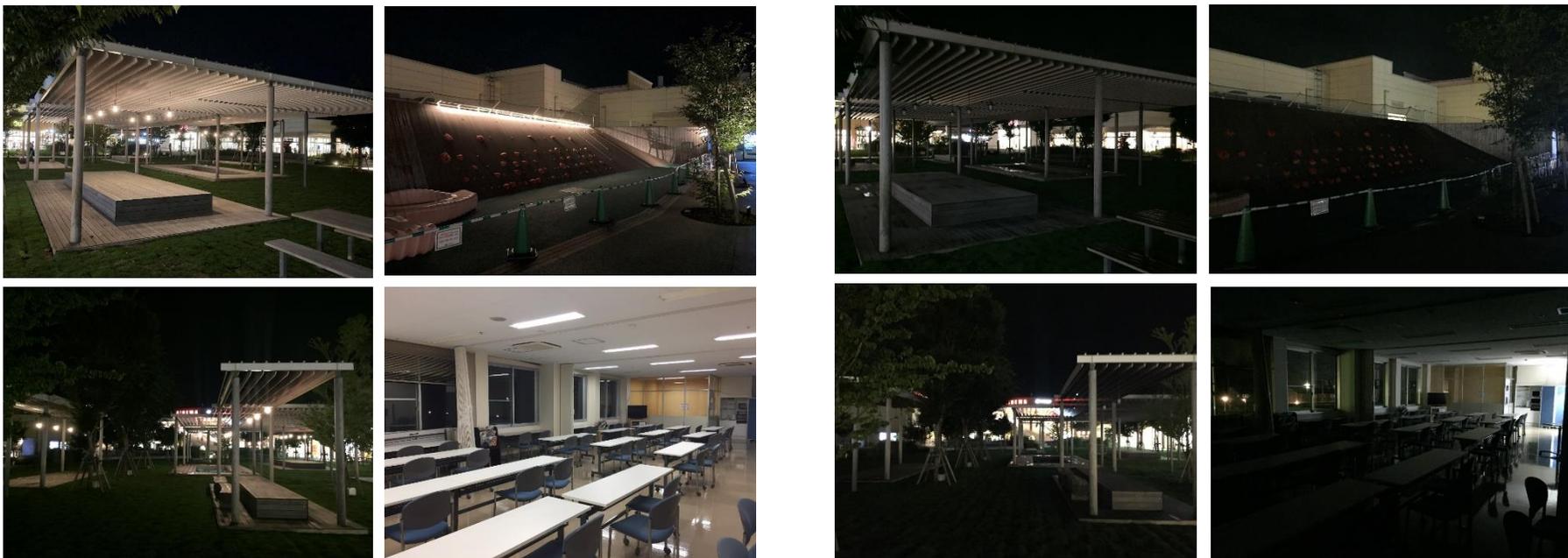
after

芝生化のメリット

- ・ヒートアイランド（温度上昇）の抑制の防止
- ・精神面へのプラス効果
- ・自然・環境学習の場
- ・地域コミュニティの形成 等

企画 ライトダウンキャンペーン

地球温暖化対策の為、毎年「CO2削減／ライトダウンキャンペーン」を実施しています



before

after

CO2削減／ライトダウンキャンペーンとは・・・

環境省が、2003年から16年間にわたり、地球温暖化対策の為、ライトアップ施設や家庭の照明を一時的に消灯するよう呼び掛けていたキャンペーンの事。おやまゆうえんハーヴェストウォークではキャンペーン終了後も自発的に活動を継続し、地球温暖化対策や啓蒙に努めている

実施日時/内容

- ・2021年7月7日（水曜日、七夕）夜8時～夜10時
- ・施設内照明の一部消灯を実施

実施メリット

- ・消費電力、二酸化炭素排出量の削減
- ・地球温暖化防止の普及啓発活動になる
- ・企業や施設のイメージアップに繋がる



駐車場にEV（電気自動車）用の充電器を1台設置し、EVの普及を促進しました



before



after

EV充電器設置のメリット

- ・お客様の利便性向上
- ・二酸化炭素の排出抑制や石油依存度の低減に間接的に寄与
- ・EV普及を促進 等

★充電インフラ補助金事業を活用して導入しています



共用部ではマイクロプラスチック化せず自然に還る地球に優しい傘袋を使用しています



写真：マイクロプラスチック

・マイクロプラスチックとは？
プラスチックが粉碎され、5ミリメートル以下の微細になったものがマイクロプラスチックです。海や河川を汚染し、生きものや人体への影響も研究で明らかになってきています。プラスチックは陸上でマイクロ化し、廃棄物処理から漏れてしまった分が雨で洗い流され、道路の排水口や河川を通じて海に流れ出ています。全てのプラスチックは、遅かれ早かれマイクロプラスチックになってしまいます



図：生分解性プラスチック分解の流れ

生分解性プラスチック製傘袋導入メリット
 ・従来のプラスチックを原料としている傘袋と比べ、マイクロプラスチック化せず、地球に優しい
 ・施設イメージアップ 等

販売金額（目安）
 ・1箱5,000枚入り 22,500円程度
 ※生分解性の為、使用期限（約1年）あり
 ※最低発注数量条件あり

外灯水銀灯のLED化

外灯水銀灯137台をLEDを使用した外灯に交換しました



before



after

LED化のメリット

- ・年間使用電力量の削減
- ・年間二酸化炭素排出量の削減
- ・年間電気料金の削減
- ・使用電力量減に伴い二酸化炭素の排出抑制や石油依存度の低減に間接的に寄与 等

工事 空調レトロフィットの導入

共用部の空調室外機14台に効率よく空調運転ができるレトロフィットを導入しました

※ダイキン製の空調機のみが対象



空調レトロフィットとは・・・

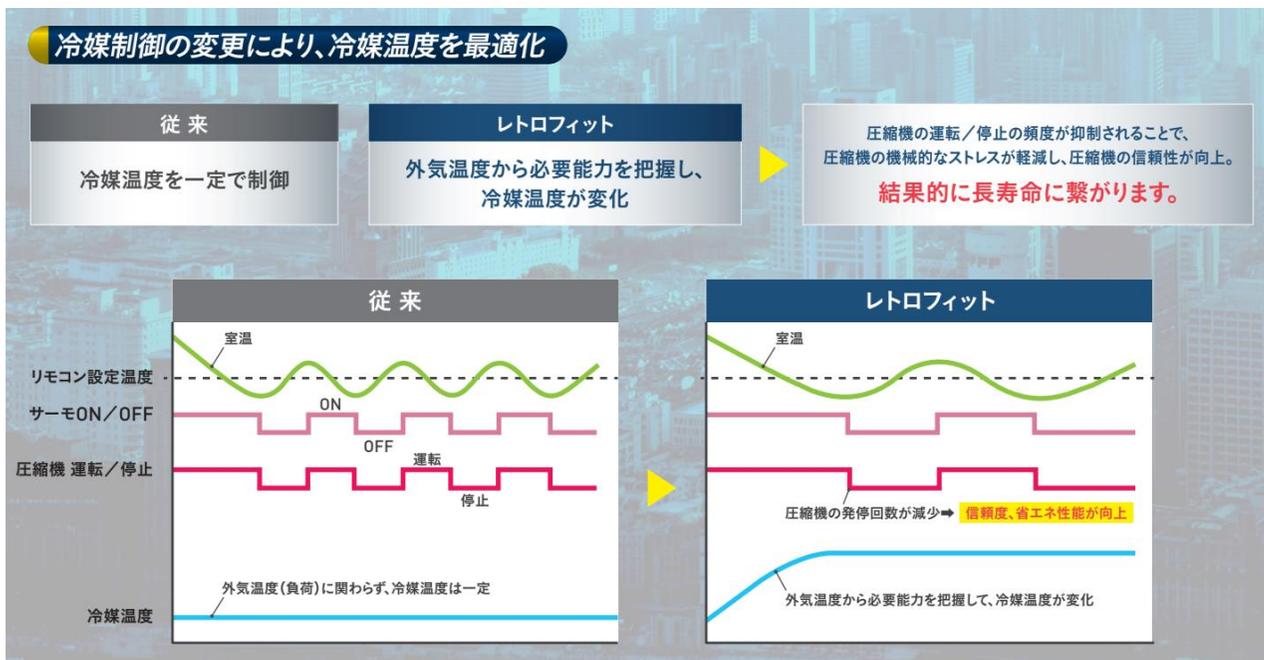
◆ 使用している空調機に最新の冷媒制御技術と圧縮機を入替え搭載することで空調機の性能を引き上げる事ができるもの

レトロフィット導入のメリット

- ・省エネ性能（消費電力）最大13%の削減
※設置環境や使われ方により削減数値が異なる場合があります
- ・エアコンの長寿命化（約8年程度）等
※機種によって変動あり



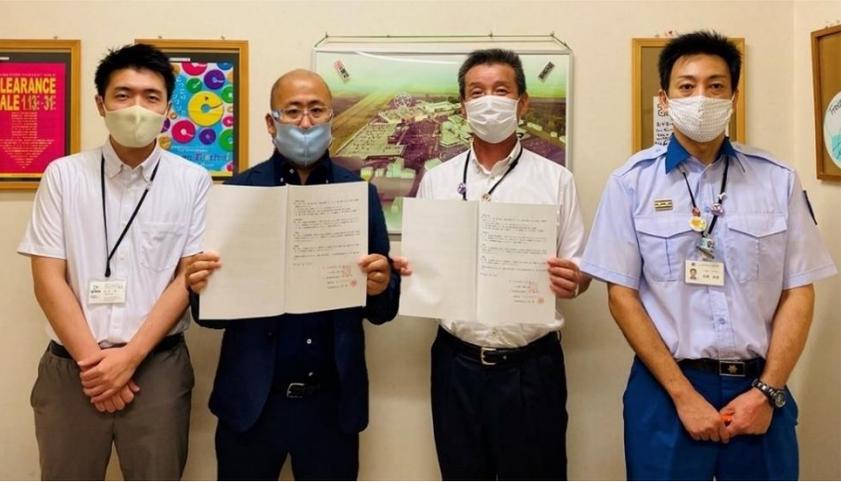
写真：レトロフィットを導入したおやまゆうえんHWの空調室外機



02.社会

小山市と災害支援協定の締結

小山市と災害協定を締結し、災害時の一時滞在場所として施設の一部を開放等、地域防災に協力しています



★協定締結に伴い、事務所の機能強化を目的に非常用発電機と充電用ソーラーパネルを各3台施設に導入



**車中泊避難者に
駐車場一部開放**
商業施設と市が協定

【小】市と周辺の大型商業施設「おやまゆえんハートウォーク」を管理運営するサイマックスアルファ（東京都中央区、吉本健一社長）は、1日付で「緊急災害支援活動に関する協定」を締結した。災害時に車の中で寝泊まりする避難者のために、同施設の駐車場の一部を一時滞在場所として開放し、可能な範囲でトイレの使用も認めたいと、臨時の給

水拠点や風水害時の自家用車の退避場所などとしても使用できるようにする。市消防本部危機管理課によると、同施設で約70台分のスペースを確保できる。ほかにも複数の商業施設と交渉しているという。新型コロナウイルス感染症防止のため避難所の3密を避けるよう、災害時には安全な親類・知人宅など避難所以外への「分散避難」が勧められている。同課は「車中泊も選択肢の一つとして検討してほしい」としている。

- 協定内容**
- ・災害時に施設駐車場の一部を一時滞在避難場所として開放
 - ・避難時のトイレの使用許可
 - ・臨時の給水拠点として駐車場の一部を開放
 - ・風水害時の自家用車の退避場所として駐車場の一部を開放
- 実施メリット**
- ・行政や地域社会との連携強化
 - ・施設のイメージアップ 等

- 非常用発電機と充電用ソーラーパネル導入のメリット**
- ・停電時にパソコン、スマホ等の充電ができる
 - ・ソーラーパネルも導入した場合、停電状況下でも発電機の再充電可能
 - ・施設の運営管理機能強化 等
- 導入金額（目安）**
- ・500,000円程度（充電器3台、ソーラーパネル3台）

出典：2020年9月7日下野新聞記事より抜粋

シャトルバスの路線バス化①

市で運行している路線バスの一部廃止を受け、施設で運行していたシャトルバスを路線バス化しました



図：新たに新設されたハーヴェストウォーク線

地域交通のインフラ、地域活性化に貢献できる様、施設で運行していたシャトルバスを廃止し、小山市とバス会社と協働して路線バスを運行しています



図：路線バス運営体制図



写真：新たに導入された路線バス

- 路線バス化のメリット
- ・バス運行能力の向上
 - ・地域社会、社会福祉へ貢献
 - ・車椅子対応のバスを導入した為、利便性UP
 - ・バス運行費のコストダウン 等

★第12回EST交通環境大賞の優秀賞受賞に貢献しました
 ※EST：環境的に持続可能な交通。EST委員会が地域の優れた交通環境対策の取組みを表彰している



路線バス化に伴い、バス停移設工事及びバス停熱中症対策工事を実施しました



写真：移設したバス停

工事内容

- ・既存バス停だと大きさが足りず路線バスの乗り入れができない為、移設工事を実施



写真：新設したグリーンエアコン

工事内容

- ・屋外バス停の為、夏場の待ち時間が厳しく熱中症になる危険性があるので、濡れ感がほぼ無く涼感を得ることができる極微細ミスト式冷却機「グリーンエアコンFlex」の新設工事を実施



写真：新設したオーニングテント

工事内容

- ・屋外バス停の為、夏場の待ち時間が厳しく熱中症になる危険性があるので、日除けと雨除けができるテントを設置

災害時に無料で飲料を提供する災害用自販機とNPO法人に売上の一部を寄付する寄付型自販機を設置しました



災害用自販機導入メリット

- ・災害時に飲料を約1,500本無料提供でき、SDGsの活動になる
- ・施設のイメージアップ 等



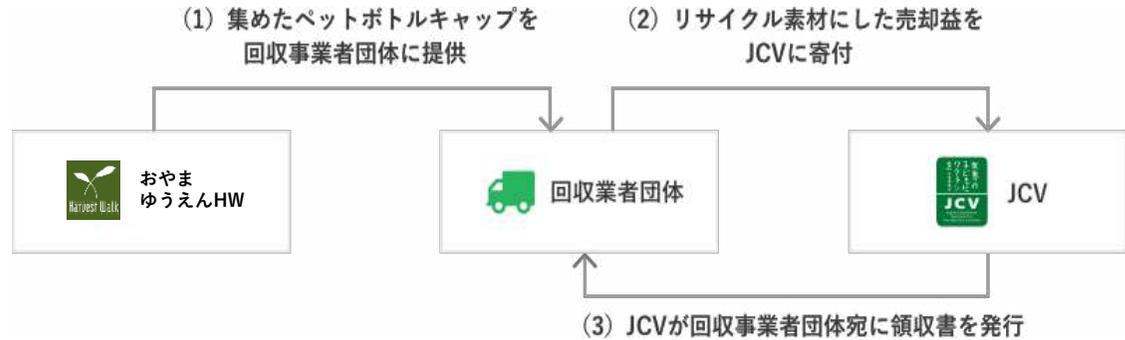
寄付型自販機導入メリット

- ・本自販機の売上の一部をNPO法人「フードバンク宇都宮」に寄付する事で、SDGsの活動になる
- ・施設のイメージアップ 等

ペットボトルのキャップを分別・回収しワクチンに変え、子供たちに届ける活動を実施しています



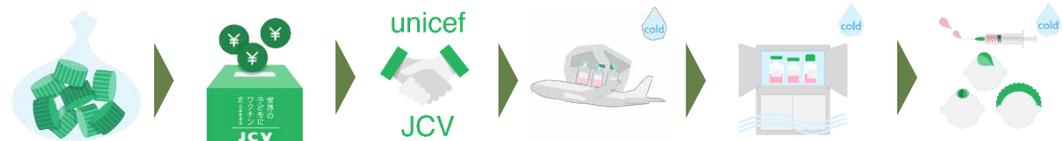
写真：キャップ回収ボックス



図：ペットボトルキャップがワクチンになるフロー

キャップを通常ごみとして焼却するとキャップ800個で6,300gのCO2が発生しますが、分別回収する事でキャップ800個がワクチン1本分になります

※回収したペットボトルキャップは、プラスチックのリサイクル資源に生まれ変わります



導入メリット

- ・二酸化炭素排出削減、SDGsの活動になる、施設のイメージアップ 等

企画

献血バスの誘致

献血バスを定期的に誘致し、献血に協力しています



写真：ハーヴェストプラザでの献血の様子

献血バス誘致のメリット

- SDGs活動になる
- 施設のイメージアップ 等

SDGsに関連した各イベントを定期的の実施しています



写真：SDGsなワークショップ

SDGsなワークショップの内容

- ・世界の共通目標であるSDGsについて、人生ゲーム等を通じて学んでもらうイベント

実施メリット

- ・SDGs活動になる
- ・施設のイメージアップ 等



写真：おやまクエスト

おやまクエストの内容

- ・SDGsを周知しながら、各クエスト（SDGsマッチング等）にチャレンジしてもらおうイベント

実施メリット

- ・SDGs活動になる
- ・施設のイメージアップ 等

◎2021年度は、SDGs目標5「ジェンダー平等を実現しよう」のターゲット5.6「（前略）性と生殖に関する健康及び権利（SRHR）への普遍的アクセスを確保する」関連のイベントを実施予定です

防災備蓄品の入替えに伴い、不要となった水・ご飯・カンパン等の防災備蓄品をフードバンクとちぎへ寄贈しました



写真：寄贈した防災備蓄品

寄贈内容

- ・水250箱（1箱1.5L×8本）
- ・ライス(五目) 20箱（1箱50袋）
- ・ライス(ドライカレー) 20箱（1箱50袋）
- ・カンパン42箱（1箱24缶）

寄贈理由

・賞味期限が近づいた為、各備蓄品の廃棄を検討していましたが、廃棄コスト（200,000円）がかかる事が判明。コストがかからず、地域社会への貢献等になる為、寄贈を行いました。



おやまゆうえんHW



フードバンク

寄贈した防災備蓄品は
フードバンクとちぎから
各地の児童養護施設
等に届けられます



児童養護施設等

図：防災備蓄品（食料品）のながれ

実施メリット

- ・食品ロスと廃棄処分費用の削減
- ・地域社会への貢献 等

施設共用部に宅配便ロッカー（PUDOステーション）を導入しました



before



after

導入メリット

- ・利便性向上
- ・間接的にSDGsの取り組みになる（配送トラック通行量・CO2削減）

※ 宅配便ロッカーは再配達のを減らせる為、配送トラックの通行量とCO2を間接的に削減でき、SDGsの取り組みとなります

適正利用と視認性向上の為、各駐車場のおもいやりスペースをブルーに塗装しました



before



after

おもいやりスペースとは？

・・・身体・精神・知的障害，難病，高齢，けが，妊娠などによって車の乗降や歩行の困難な方が優先的に利用できる駐車場の事。公共施設やショッピングセンターなどにあり，利用者証を提示する事で利用できる。

おやまゆうえんハーヴェストウォークでは、駐車場の適正利用が課題になっている。

メリット

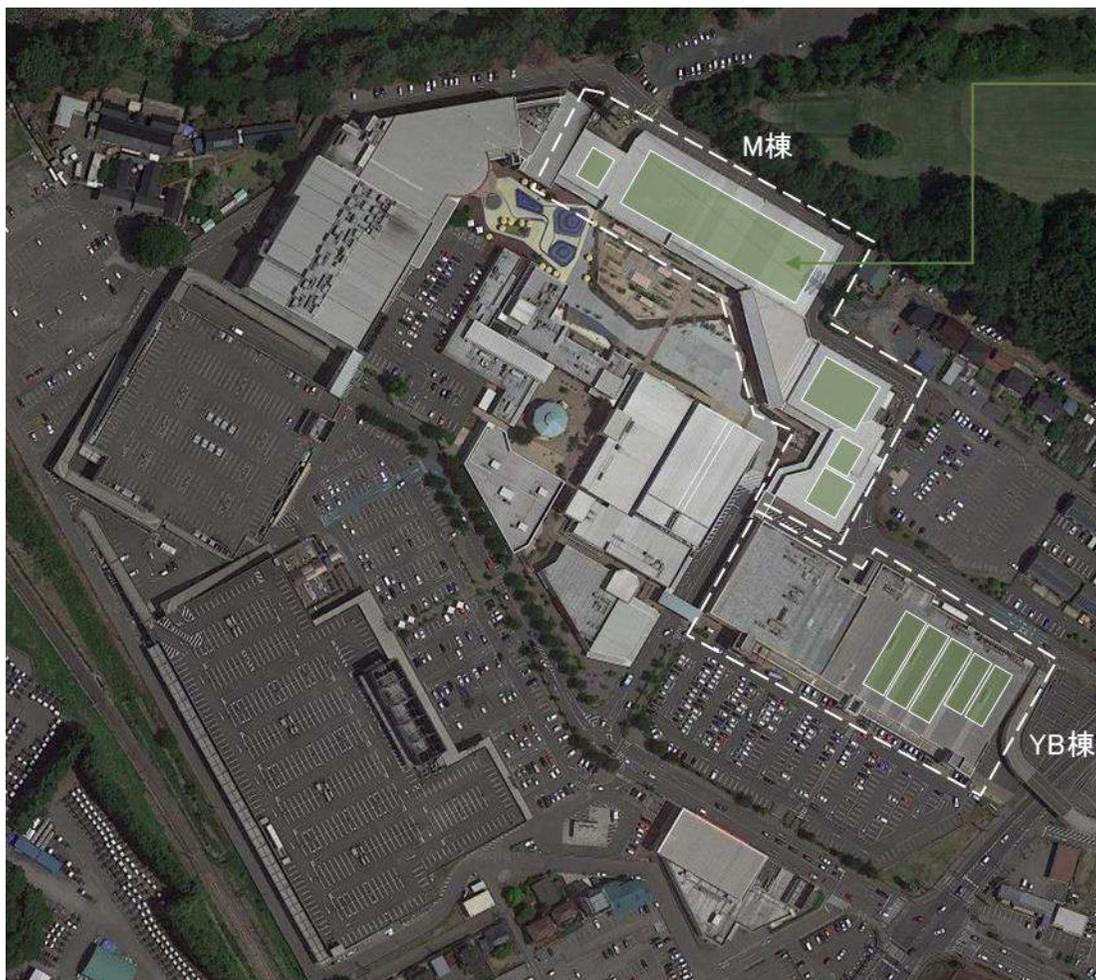
・適正利用促進、施設のイメージアップ等

03. 実施予定

＜予定＞ソーラーPPAサービスの導入



施設の屋根に太陽光パネルを設置し、そこで発電した電気を使用する予定です

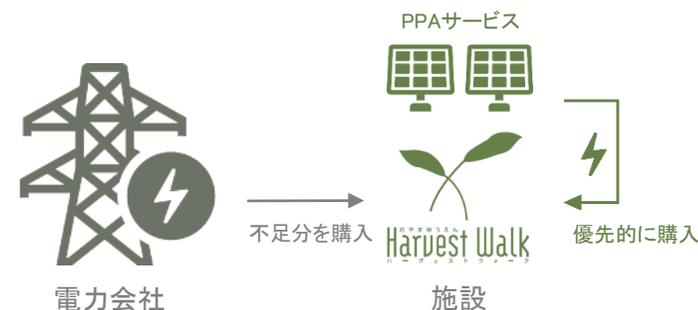


太陽光パネル設置予定箇所

PPAサービスを導入する事で、電力会社から購入する電力量と二酸化炭素の排出量を削減できる予定です

※PPAサービスとは…施設の屋根上に太陽光発電システムをPPAサービス業者の負担で設置し、発電した電力を施設側が購入するサービスです。施設側は第三者が保有する資産を屋根に置くだけなので、イニシャルコストが発生しないメリットがあります

ソーラーPPAサービス導入イメージ図



実施時期

・2022年3月頃～開始予定

導入メリット

- ・太陽光パネルの定期メンテナンス等の費用はPPAサービス業者の負担で実施
- ・電気料金削減
- ・CO2排出量削減 等



施設で使用しているごみ袋を環境に優しいバイオマス性のごみ袋に変更する予定です



イメージ写真：バイオマスごみ袋

導入後、共用部で使用のごみ袋は、トウモロコシやサトウキビ等から製造された植物由来原料を30%以上配合した材質へと変更となります。

これに伴い、二酸化炭素を削減することができ、環境保全に大きく貢献することができます

実施時期

・2022年3月頃～開始予定

導入メリット

- ・ESG（環境）の取り組みになり、バイオスマークがごみ袋に印字される
- ・一般的なごみ袋と比べ、石油由来原料の使用量が少ない為、CO₂排出量が削減できる

販売金額（目安）

- ・45Lバイオマス濃度30%ごみ袋1箱7,500円程度（1箱25袋入りで1袋20枚入り）
- ・70Lバイオマス濃度30%ごみ袋1箱7,800円程度（1箱15袋入りで1袋20枚入り）

※最低発注数量に条件有り、版代別途